

春の日ざしらしい気配が何となく感ぜられるようになって来た。日も一日一日と長くなり、まだ明るいと思つて仕事をしている、いつの間にか夕食の時間も近づいている。春の近づくのを待ちつつ仕事をするのは楽しいことである。

今月は新学期の計画を立てるに備えて組編成のいろいろについて、それぞれの方法をとつておられる實際経験者から、その得失について、実際の経験をまとめていただいた。組の構成をいかにするかはいわば政治である。人は政治だけによつて律せられるものではないが政治が人の行動の枠をきめる場合もある。保育室の政治も、どこにその軽重がおかれるかを考え、実際のな功罪をも考慮して、工夫せねばならぬものである。子供にとつては自分の属する組なり保育室なりは、活動の本拠となる場所である。そこにいかに落着いて安住するこ

編集後記

とが出来、どのような種類の経験をどのように豊富に得ることが出来るかということが問題である。これを更につきつめてゆけば保育内容の問題にあり、幼児にとつてどのような経験環境を構成するかが、研究すべき重要な分野となる。今後幼児教育の研究課題は大きい。土屋氏の問題児の成長は問題児にぶつかった時に、長期に亘る洞察眼の必要なことを教えてくれる。軽々に問題児というレッテルを貼つて一人の子供を特殊視することの危険は更めて云うまでもなからう。

×
×
×

幼児の教育 第五十四巻 第三号

定価金五十円

昭和三十年二月二十五日印刷

昭和三十年三月一日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉橋惣三
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

○本誌御購読についての御注文は発売所
フレーベル館にお願い致します。